

食育推進計画指標の比較（第3次と第4次）

◎：目標値を達成
○：直近値が計画策定時の現状値と比較して向上
▲：直近値が計画策定時の現状値と比較して進捗がみられない

資料1-2

取組の柱	第3次計画の指標（23指標31目標値）						取組の柱	第4次計画の指標（22指標26目標値）					
	計画策定時の実績(H27)	実績(R2)	目標値 (R3)	評価	現状値 (R2)	目標値 (R8)		(参考) 国4次計画目標No					
若い世代を中心とした実践	朝食を食べる人の割合の増加	(幼児1～5歳)	93.2%	97.0%	100%	○	朝食を食べる人の割合の増加	(幼児1～5歳)	97.0%	100%	国④		
		(児童・生徒6～14歳)	93.4%	86.8%	100%	▲		(児童・生徒6～14歳)	86.8%	100%			
		(15～19歳)	85.6%	82.1%	95%以上	▲		(若い世代 15～30歳代 男性)	74.3%	82%以上	国⑤		
		(20歳代男性)	51.4%	57.1%	57%以上	◎		(若い世代 15～30歳代 女性)	76.6%	84%以上			
		(20歳代女性)	69.2%	75.8%	76%以上	○							
		(30歳代男性)	66.8%	85.7%	73%以上	◎							
		(30歳代女性)	82.0%	78.5%	90%以上	▲							
	朝食に副菜(野菜、芋料理、野菜たっぷり汁物)を食べている子どもの割合の増加(1～14歳)	29.3%	39.8%	35%以上	◎								
	給食施設(学校・児童福祉施設)において肥満・やせの状況を把握している割合の増加	78.3%	83.4%	100%	○	継続	給食施設(学校・児童福祉施設)において肥満・やせの状況を把握している割合の増加	83.4%	100%				
	公立小中特別支援学校教職員の食に関する研修の受講率の増加	26.5%	83.6%	50%以上	◎	見直し	公立小中特別支援学校教職員における食に関する校内研修の実施率の増加	今後把握	100%				
学校給食での県産品使用割合の増加	29.7%	28.4%	35%以上	▲	見直し	学校給食を活用し、地場産物について指導している小・中学校の割合の増加	今後把握	100%	国⑥(類似)				
食育を7教科の中で実施した中学校の割合の増加(技術家庭科、保健体育を除く)	-	75.5%	100%	-	継続	食育を7教科の中で実施した中学校の割合の増加(技術家庭科、保健体育を除く)	75.5%	100%					
家庭・地域と連携した取組みを行った学校(のべ数)の増加	3,718校	2,529校※	4,500校	▲									
支えるかな暮らしの推進	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合の増加(20歳以上)	-	67.0%	70%以上	-	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合の増加(20歳以上)	継続	67.0%	75%以上	国⑨			
		食事づくり(買物・調理・後片づけ)に参加する人の割合の増加(20歳以上)	(男性)	70.6%	79.6%		75%以上	◎					
			(女性)	94.0%	98.3%		95%以上	◎					
	毎日、家族や友人と楽しく食事をする人の割合の増加(20歳以上)	57.3%	70.4%	68%以上	◎	継続	毎日、家族や友人と楽しく食事をする人の割合の増加(20歳以上)	70.4%	75%以上	国③			
	食の健康協力店の店舗数の増加	(登録店舗数)	7,947店	8,524店	9,000店	○	新規	栄養・食生活改善を中心に健康づくりに取り組む企業(給食施設)数の増加	今後把握	〇〇力所			
	食の健康協力店の取り組み内容の充実	(栄養成分の表示)	2,890店	3,271店	3,300店	○	新規	オーラルフレイルに対応できる歯科医療機関数の増加	今後把握	〇〇力所			
	災害に備え、非常用食料などを備蓄している世帯の割合の増加(世帯)	61.7%	89.2%	75%以上	◎	継続	食の健康協力店の店舗数の増加(登録店舗数)	8,524店	9,300店				
						継続	食の健康協力店の取り組み内容の充実(栄養成分の表示)	3,271店	3,500店				
に食やわらう農生活の積極的	地元や県内でとれた農林水産物を買っている人の割合の増加	71.7%	66.4%	81.0%	▲	地元や県内でとれた農林水産物を買っている人の割合の増加	継続	66.4%	69.5%				
		直売所等利用者数の増加	2,384万人	2,820万人	2,830万人		○	継続	直売所等利用者数の増加	2,820万人	3,700万人		
		兵庫県認証食品流通割合(生鮮)の増加	27.7%	40.0%	41.0%		○	見直し	兵庫県認証食品数の増加	2,246品目	2,320品目		
		兵庫県認証食品の加工食品数の増加	842品目	733品目	1,030品目		▲						
		楽農生活交流人口数の増加	1,153万人/年	1,108万人/年(R元)	1,160万人/年		▲	継続	楽農生活交流人口数の増加	1,108万人/年(R元)	1,173万人/年	国⑰(類似)	
	地域の行事食、郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合の増加(20歳以上)	(知っている人)	41.4%	49.3%	50%以上	○	地域の行事食、郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合の増加(20歳以上)	新規	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ人の割合の増加(20歳以上)	今後把握	75%以上	国⑱	
		(作ることができる人)	18.4%	24.1%	25%以上	○		新規	食品ロス削減のために何らかの行動をしている人の割合の増加(20歳以上)	今後把握	80%以上	国⑳	
								継続	地域の行事食、郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合の増加(20歳以上)	49.3%	55%以上	国㉑(類似)	
							24.1%	30%以上					
体の食育整備の進	食育に関心のある人の割合の増加(20歳以上)	86.8%	98.3%	90%以上	◎	体の食育整備の進	継続	食育の意義を理解し、食育活動を実践している人の割合の増加(20歳以上)	66.3%	75%以上			
		食育の意義を理解し、食育活動を実践している人の割合の増加(20歳以上)	47.4%	66.3%	60%以上		◎	新規	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する人の割合の増加(20歳以上)	今後把握	80%以上	国㉒	
	地域と連携した食育活動に取り組む組織・団体の増加	360団体	675団体	610団体	◎		新規	デジタル技術を活用した食育活動に取り組む組織・団体の増加	今後把握	100団体			
	地域団体・関係団体が参画した市町食育推進会議の開催	19市町	38市町	全市町	○								